

Tohoku Gakuin University LIBRARY Information

東北学院大学図書館だより



東北学院大学
中央図書館
中央図書館分室
コラトリエ・ライブラリー(図書館)

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/library/>

1996年の創刊から約30年間、愛読者の皆様とともに歩んでまいりましたLIBRARY Informationも、今回126号をもって最終号となります。これまでご愛読いただき、誠にありがとうございました。

今まで掲載してきた内容は、引き続き図書館ホームページにてご覧いただけます。ホームページでは、図書館の利用方法やイベント情報などを発信しておりますので、ぜひ定期的にご確認ください。また、X(旧Twitter)でも図書館に関する情報を発信してまいりますので、併せてご活用ください。

最終号では、創刊号と第100号を掲載いたします。ぜひ、LIBRARY Informationの歴史を振り返っていただければ幸いです。

創刊号

1996年12月3日発行

創刊号が発行された1996年、図書館ホームページも開設されました。

図書館所蔵資料の検索や予約、図書館の利用案内など、様々な情報を閲覧できるようになりました。

また、OPACの利用方法も詳しく解説されています。

Tohoku Gakuin University LIBRARY Information

東北学院大学図書館だより

創刊号
1996.12.3

東北学院大学
中央図書館
中央図書館分室
多賀城キャンパス図書館
大学院図書館

◆東北学院大学図書館ホームページ開設

平成8年11月20日より図書館のホームページを開設いたしました。内容は【沿革】【施設案内】【利用案内】【OPAC】の構成です。OPACについての詳細は別にご紹介します。
{<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/library/>}

◆学内図書館相互貸出サービスについて

他キャンパス図書館所蔵図書の出貸・返却サービスを開始しました。希望者は各館間関係まで。

◆冬季長期貸出について

中央図書館：12月9日(月)～20(金)
泉キャンパス図書館：12月9日(月)～
多賀城キャンパス図書館：12月14日(土)～
貸出冊数：5冊まで。
1997年1月10日まで返却すること。
(大学院生・教職員は通常通りとなります。)

◆冬季休暇期間中の閉館について

冬季休暇期間(1996年12月12日～1997年1月6日※工学部は1996年12月18日～1997年1月6日)については下記の通りです。
中央図書館：12月12日～20日 午前9時～午後7時まで閉館
※13日は公開クリスマスのため午後5時まで閉館となります。
泉キャンパス図書館：12月12日～20日 午前9時～午後4時まで閉館
多賀城キャンパス図書館：12月18日～20日
大学院図書館：12月12日～20日 午後4時まで閉館
※冬季休暇期間中の土、日曜日及び祝日は休館となります。

◆代行検索サービスについて

- ・NACRIS-IR検索サービス。
「学術情報センター」へ接続し、探している情報を検索・提供します。
- ・CD-ROM検索サービス。
「雑誌記事索引」「HASK(朝日新聞)」ほか各館で各種CD-ROMからの検索もいたしますので、各館関係係に問い合わせ下さい。
- ・インターネットからの図書館情報提供。
書店、図書館流通センター、他大学図書館等のホームページから検索し、情報の提供をいたします。

◆各館通常開館時間

中央図書館	月・水・金	8:30～21:30
	火・木・土	8:30～20:00
泉キャンパス図書館	月～金	8:30～20:00
	土	8:30～19:00
多賀城キャンパス図書館	月～金	8:30～19:00
	土	8:30～17:00
大学院図書館	月～金	8:30～17:00
	土	8:30～12:30

※礼拝時間は閉館させていただきます。

OPAC利用について

Online Public Access Catalogue

◆館内利用可能な場合
トップメニュー(7画)から無条件検索を選択して下さい。
検索条件
1. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
2. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
3. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)

◆校外からの接続の場合
検索条件
1. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
2. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
3. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)

◆利用時間について
検索条件
1. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
2. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
3. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)

◆利用時間について
検索条件
1. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
2. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
3. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)

◆利用時間について
検索条件
1. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
2. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)
3. 検索対象(中央図書館、泉キャンパス図書館、多賀城キャンパス図書館、大学院図書館)

第100号

2015年2月1日発行

第100号では、創刊100号を記念して、当時の学長である松本宣郎先生と、当時の図書館長である中川清和先生からご寄稿いただきました。また、同年3月にラーニングcommonsに先駆けて誕生した中央図書館「アクティブ・コート」が紹介されています。

東北学院大学 図書館今昔

100周年を記念して、当時の学長である松本宣郎先生と、当時の図書館長である中川清和先生からご寄稿いただきました。

2015年3月6日 中央図書館に「アクティブ・コート」誕生!

1階の開放的な空間に最新の学習スペースを拡張します

2つの学びのスペース

3つの学びのスタイル

4つの学びのスタイル

5つの学びのスタイル

6つの学びのスタイル

7つの学びのスタイル

8つの学びのスタイル

9つの学びのスタイル

10つの学びのスタイル

100周年記念★ 寄稿について

100周年を記念して、当時の学長である松本宣郎先生と、当時の図書館長である中川清和先生からご寄稿いただきました。

中央図書館の利用の変遷について

中央図書館は、創立以来、常に最新の設備を導入し、最新のサービスを提供してきました。

年度	延床面積 (㎡)	蔵書数 (冊)	利用人数 (人)
昭和25年度	14,300	100,000	100,000
昭和30年度	18,000	150,000	150,000
昭和35年度	22,000	200,000	200,000
昭和40年度	28,000	250,000	250,000
昭和45年度	35,000	300,000	300,000
昭和50年度	45,000	400,000	400,000
昭和55年度	55,000	500,000	500,000
昭和60年度	65,000	600,000	600,000
昭和65年度	75,000	700,000	700,000
昭和70年度	85,000	800,000	800,000
昭和75年度	95,000	900,000	900,000
昭和80年度	105,000	1,000,000	1,000,000
昭和85年度	115,000	1,100,000	1,100,000
昭和90年度	125,000	1,200,000	1,200,000
平成5年度	135,000	1,300,000	1,300,000
平成10年度	145,000	1,400,000	1,400,000
平成15年度	155,000	1,500,000	1,500,000
平成20年度	165,000	1,600,000	1,600,000
平成25年度	175,000	1,700,000	1,700,000
平成30年度	185,000	1,800,000	1,800,000
令和5年度	195,000	1,900,000	1,900,000

私費貸出(学生用)

キャンパス内蔵書と私費貸出の両方を活用して、より多くの学生が本を読むことができます。

業おひつぱり予定の皆さんへ

図書館は、業おひつぱり期間中は、蔵書数の減少やサービスの制限があります。

卒業生の方へ

卒業生の方は、卒業後にも図書館を利用することができます。

お問い合わせ

TEL: 022-258-1111 FAX: 022-258-1112

Tohoku Gakuin University
LIBRARY Information
東北学院大学図書館だより

No.100
2015.2.1

東北学院大学
中央図書館
中央図書館分室
泉キャンパス図書館
多賀城キャンパス図書館
http://www.lib.tohoku-gakuin.ac.jp/

No.100の主な内容

100号記念：学長の言葉「図書館とのつきあい60年」.....1ページ

100号記念：図書館長の言葉「東北学院大学図書館今昔」/アクティブ・コートのお知らせ.....2ページ

創刊号を振り返ってみよう！/2・3月中の図書館利用変更・卒業後の貸出について.....3ページ

2月~3月の図書館カレンダー.....4ページ



図書館とのつきあい60年

図書館の思い出が最初に浮かぶのは、「移動図書館」である。私の故郷の町には、市が運営する移動図書館があり、申し込むと1ヶ月に一度訪問してくれた。別に開かぬ村にいたわけではない。実は子ども時代は病気が再三手前して、自宅に臥せていることが多かったで、このようなサポート事業があったのを利用したのである。山羊のような美しい目をした担当者が、自転車で引っこめてやってくる。だから冊数も少なかった。私はもっぱら月刊の『野球少年』を借りていた。一度、興味をひかれてその雑誌の新聞を家に買ってもらったことがある。その直後に訪れた山羊の目の担当者が、ハイ、と思いついてくれた『野球少年』は断る羽目になった。すると担当者は実に悲しそうな顔をしたのである。代わりに何を借りたか、覚えていないが、子供心に悪いことをしたかな、という思いに駆られたのである。

図書館の喜びは、背表紙を眺めて、興味をひかれる書名を次々と見出すことである。1冊見つけて書棚から引っ張りだしている間に、すぐ近くの別の書物が面白そうで、目が奪われる、などという体験を何度もしたものである。この楽しみは自分の知識や学問の成長に見合せて拡大する。

古代ローマ史を勉強した私は、最前を追いながら、次第にレベルの高い図書館に入り浸ることに、楽しみを倍加させていくことが出来た。まず東京大学の総合図書館という、東京大空襲をも生き延びた古色蒼然たる建物の、冬などは非常に寒い書庫に、大学院生となって初めて入り、19世紀どころか16、7世紀築行のヨーロッパの原書を見て圧倒されたものである。

そのヨーロッパの、ローマ史研究では本場本館の図書館に入れたのは、古代遺跡発掘隊に加わって出かけた、ローマ市のドイツ考古学研究所をおとすれたときの事だ。ドイツ帝国時代に創設されたばかりで、蔵書自体、学会誌・事典などは研究所固有のもの、しかも豪華な製本に仕立ててあり、表紙の見出しの彩色の模様も見事であった。ここではギリシア、ラテンの原典や、世界各国の最新の学会誌を閲覧できた。

その後訪れた英国のオックスフォード大学の図書館、ロンドン大学の古典学図書館でも、「おおよそ見つかからない本はない」というのに近い体験が出来た。しかも一方で、見つかった貴重書をやらにコピーするとを覚えてしまった。大量にコピーして結局読まざりまい、というのも少なくなかった。

近年大学図書館は変わりつつある。学生諸君が書物のみならずインターネットでも情報を得、ゼミやサークルでそれを共有し、課題を追求してゆける場である、ラーニングcommonsが備えられている。しかし、書物(紙)であれ、eBookであれを眺み込むことは依然として知識吸収のためには不可欠の前提である。これからの学生諸君の「図書館の思い出」がどのような描かれ方をするのか、期待したいものである。

学長 松本宣郎

図書館の情報発信ツール

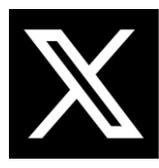
図書館ホームページ



図書館のお知らせや利用方法、蔵書目録の検索、データベースの利用など、あらゆるコンテンツから授業や課題に役立つ情報収集が可能です。

X (旧 Twitter)

新着本のお知らせやスタッフおすすめ本の紹介、館内展示のご案内や学生イベントの告知など最新情報をお届けします。



図書館ホームページ

おすすめコンテンツをご紹介します。図書館ホームページで充実した情報リソースをご活用ください。データベースのうち、学認マーク  があるものは学外からもアクセスが可能です。フリーアクセスのデータベースは、学内外どこからでも自由にご利用いただけます。



東北学院

本日の開館時間

中央図書館
① 8:30-22:00
コラトリエ・ライブラリー
① 8:30-22:00
中央図書館分室
① 10:00-21:00

月間カレンダー →

利用案内

資料を探す

MyLibrary (オンライン各種手続)

学生の方へ

教員の方へ

よくある質問

貴重図書コレクション

Posts from @TGU_Lib

 東北学院大学図書館 X
@TGU_Lib · Jun 18
コラトリエ・ライブラリー5Fにて、展示「東北学院大学 教員著書」を開催中🌟さまざまな学部・学科の本学教員が書いた本を読んでみませんか📖
▼詳細はこちらから
tohoku-gakuin.ac.jp/library/post-4...
#東北学院大学#図書館



X (@TGU_Lib)

ホームページからもアクセスできます。
最新の館内展示、新着本やスタッフおすすめ本の紹介、イベントの情報をいち早くお届けします。

学生の方へ

- ▶ **リサーチ・ツールの使い方**
- ▶ 調べものに役立つリンク集 (学部学生向け)
- ▶ 学生生活に役立つお勧め本
- ▶ 学生イベントのご案内
- ▶ 図書購入リクエスト (学部学生・院生用)

リサーチ・ツールの使い方

チャートを使って、ニーズにあった資料を探せます。



質問に答えながら、適切なツールを見つけてください。

読みたい図書・資料は決まっていますか？

決まっている

決まっていない

何を探していますか？

図書を探す

学術論文を探す

新聞記事を探す

雑誌記事を探す

法律や判例を探す

学生の方へ

- ▶ リサーチ・ツールの使い方
- ▶ **調べものに役立つリンク集 (学部学生向け)**
- ▶ 学生生活に役立つお勧め本
- ▶ 学生イベントのご案内
- ▶ 図書購入リクエスト (学部学生・院生用)

調べものに役立つリンク集 (学部学生向け)

調べものをしたときに役立つリンク集です。

- ▶全般 ▶経済・金融に関する情報
- ▶企業経営に関する情報
- ▶法律・判例・行政に関する情報
- ▶歴史に関する情報
- ▶美術作品などのアーカイブ



東北学院大学図書館

@TGU_Lib

図書館から本日の紹介イベント等のご案内をします。図書館へのご意見・ご質問がありましたら、図書館Webサイトにある「お問い合わせ」のフォームからお問い合わせください。

📅 2023年3月からTwitterを利用しています

41 フォロワー 134 フォロワー

フォローしている人にフォローはしません。

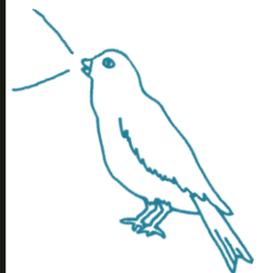
ポスト

返信

メディア

東北学院大学図書館 @TGU_Lib · 6月18日
コラトリエ・ライブラリー5Fにて、展示「東北学院大学 教員著書」を開催中🌟さまざまな学部・学科の本学教員が書いた本を読んでみませんか📖
▼詳細はこちらから
tohoku-gakuin.ac.jp/library/post-4...
#東北学院大学#図書館

tohoku-gakuin.ac.jp
【コラトリエ・ライブラリー】展示のご案内「東北学院大学 教員著書紹介」さまざまな学部・学科がある本学の教員が執筆した著書は多岐に渡



先生の本棚

文学部・教育学科

渡辺 通子 先生

『若菜集』

島崎藤村著 春陽堂, 1897

(中央図書館所蔵)

本学教員に、オススメの1冊を紹介していただきました。
図書館で借りることもできますので、ぜひご一読ください。
今後は図書館ホームページに掲載していきます。

島崎藤村(本名 春樹)が1896(明治29)年から凡そ一年ほどの間、本学に奉職していたことをご存じだろうか。語学教育に注力していた本学に、訳読(Translation)と作文(Japanese Composition)の教師として招かれたのである。弱冠26歳の青年教師であった。

「まだ上げ染めし前髪の林檎のもとに見えしとき・(「初恋」)や「名も知らぬ遠き島より流れ寄る椰子の実一つ(「椰子の実」)」、(小諸なる古城のほとり 雲白く遊子悲しむ(「小諸なる古城のほとり」)は教科書に採録される定番の教材であり、国語の時間に鑑賞した人もいだろう。これらを取めたのが第一詩集『若菜集』である。収録作品の多くは本学在職中に作られた。一度、51編の全作品に目を通して教科書教材となった作品以外に触れ、『若菜集』の世界観を味わってほしい。ヨーロッパの文学思潮を換骨奪胎し、日本の伝統を加えた甘美な抒情性ある詩風は文学の新たな始まりを予兆させる。藤村は表紙の装丁や挿絵にもこだわりを見せている。幸い本学には図書館や資料センターに複数の所蔵があり、刊行当時の初版本もある。図書館の活用や詩集の味わい方が広がることだろう。

法学部・法律学科

木下 淑恵 先生

『リンドグレーンの戦争日記 1939—1945』

アストリッド・リンドグレーン著、石井登志子訳、岩波書店, 2017

(中央図書館所蔵)

『ロッタちゃんのひっこし』や『長くつ下のピッピ』などで知られる児童文学作家が、第二次世界大戦のとき書き綴っていた日記の翻訳です。著者の暮らしていたスウェーデンは、第二次世界大戦に参加しませんでした。しかし、大戦の影響を受けなかったわけではありません。著者が1人の主婦として、報道や仕事などを通して見聞きしたことが、当時の生活ぶりとともに書かれています。1人の女性の目に映る第二次世界大戦、当時の日常生活、さらには著者の人がらなどが、読み進めるほどに浮かびあがってきます。地名、人名が多く出てきますが、文章そのものは平易で読みやすい1冊です。



工学部・機械知能工学科

濱西 伸治 先生

『今日の芸術 一時代を創造するものは誰かー』

岡本 太郎著 光文社文庫, 2022

(コラトリエ・ライブラリー(図書館)所蔵)

「芸術は爆発だ!」というCMでの名ゼリフよりも、「太陽の塔」で有名な芸術家と紹介した方が今の学生達には分かりやすいかもしれません。若者に人気の歌手が「太陽の塔の下でライブをするのが夢」と公言するほどの強烈なインパクトを与えてくれる造形とエネルギーは、「既存の常識や概念にとらわれずに」という私の研究に対する信念を支えてくれる、文字のない教科書のような存在です。学校では「個性」が大事と教えられて育ったはずなのに、社会では「協調性」が大事…と壮大な自己矛盾を抱えながらこれから生き抜かなくては行けない若者たちにぜひこの一冊を。



地域総合学部・政策デザイン学科

武藤 敦士 先生

『さいごの色街飛田』

井上理津子著, 新潮社, 2015

(コラトリエ・ライブラリー(図書館)所蔵)

「飛田新地」は大阪市西成区に所在する遊郭街である。売春する女性が誰にでも見える形で客をとっていることから、私は隣接する日雇労働者の街「釜ヶ崎」とともに、貧困問題を学ぶフィールドとして多くの学生を案内してきた。しかし、本書の発刊までこの街の実態を明らかにした文献はほとんど存在せず、知りたいけれどわからないことの多い街であった。本書はこれまで明らかにされてこなかったこの街の実態を、関係者への取材と様々な資料の分析から明らかにしたきわめて貴重なルポルタージュである。本書を読み、この街を訪れ、女性の貧困問題について考える機会にしてもらえれば幸いである。

